

研修名)	令和5年度再就職支援セミナー 基礎コース（採血・点滴）				
領域	ナースセンター事業委員会	会場	看護研修センター大会議室	受講料	1,550円
対象	参加者 16名（午前11名・午後5名）				
日時	令和5年9月4日（月） 9:25～11:30 12:55～15:00				
ねらい （目標）	目的：看護の動向を知り基礎看護技術を習得することで、就業への不安が軽減でき就業意欲の向上につながる 目標：①最新の看護の動向について理解できる ②安全な点滴・採血の方法手技について理解できる				
講師	1. 看護の動向 新潟県看護協会 ナースセンター 課長 高橋恒子 2. 採血・点滴の基礎看護技術 ナースセンター事業委員				
内容・方法	1. オリエンテーション 2. 看護の動向 3. 採血・点滴基礎看護技術 実習 4. 情報交換会				
結果・評価 （受講者の意見 感想含む）	アンケート結果（別紙）を評価方法として、目標の理解度を評価基準とした。 目標① とてもそう思う 68.8% そう思う 31.3% 目標② とてもそう思う 87.5% そう思う 12.5% ① ②の結果より今回の研修目標は達成した。 また、研修受講により「再就職への意欲が高まった 56.3%」「知識や技術を学び自信がついた 50%」「*再就職への視野が広がった 68.8%」であり、ポジティブな変化につながる研修となり目的は達成された。（*は昨年より上昇） 離職期間1年未満～10年以上と幅があったが、採血・点滴実習は看護技術の再確認や最新の知識と技術を実際に学ぶ機会として、学習ニーズに合致した内容である。また、今年度はより多くの人に参加してもらうため、午前・午後の2回開催とした。午後の参加者が6名（うち1名欠席）と少なかったが、その分実技を複数回行うことができ、満足度が高かった。 演習では、委員メンバーによるデモンストレーション後に、午前は参加者同士ペア 午後は委員とペアになって実施してもらった。模擬血管も昨年より増えたため、穿刺の感覚を実際に体験でき良かったという感想も多かった。情報交換会では、5～6人のグループに分かれ感想を話してもらい、参加者全員の意見を聞くことができた。参加者同士の交流も再就職への意欲につながる機会となるため、少人数で話しやすい雰囲気で行えたことは良かった				
企画の評価	目標の理解度がまあまあ理解できたを含め 100%であり、セミナー内容は妥当であった。看護技術体験への要望は高く、最新知識が紹介できる企画を継続していく必要がある。				
課題	参加者は実践の希望が多いため、針の穿刺は2回経験できた方が良い。そのため参加者数の制限や、内容・時間配分等の検討が必要である。				
担当者	ナースセンター事業委員会				